

編集後記

本号は成田勝・橋本操六両氏の玉稿二編と、尾登一信・豊田寛三・秦政博三氏による史料紹介を中心に編集した。

巻頭の成田氏の論文は氏のライフワークであるキリシタン研究の一端で興味深い論文である。橋本氏の論文は大友氏の日向侵攻に新しい視点をあてたものであり、両氏の寄稿に敬礼を申しあげたい。

また史料紹介の「豊府指南」は江戸後期の府内城下町に関する基本史料でありながら、従来、活字化されることのないままであったものを、尾登氏が原稿作成、豊田・秦両氏が校訂に当られ、その全容をここに紹介していただくことになった。三氏のご労苦に敬意を表したい。

溝淵芳正氏の研究ノートは大友氏加判衆による新文書を紹介されており、未知見文書がまだまだあることを教えてくれる報告である。今後、研究ノート欄を充実させたいと考えているので、会員各位は気軽に寄稿下さるようお願いしたい。(佐藤)

昭和六十二年十二月十五日 印刷
昭和六十二年十二月二十五日 発行

大分県地方史 第二二八号

編集者

佐藤 満洋

発行者

渡辺 澄夫

印刷者

中尾 寿孝

印刷所

別府市中央町九一五
日の丸印刷株式会社

(電話 〇三四二)

発行所

〒八七〇一一 大分市且ノ原七〇〇

大分大学教育学部国史研究室内

大分県地方史研究会
(振替・下関八一五二九四番)